



6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果  
 ・整備構想が策定され、基本設計に向けた準備が整う。  
 ・モデル事例（取組事例）を作ることにより、県内各地への導入が推進される。

指標	指標名	検討委員会の開催回数							指標の種類
	指標式	動物愛護センター（仮称）整備構想案の検討委員会の開催回数							成果指標 業績指標
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	最終年度
	目標a			3					
	実績b	データ等の出典							
	東北 全国	開催実績							

把握する時期 当該年度中 03月 翌年度 月 翌々年度 月

指標	指標名	「地域猫対策」実施事例数							指標の種類
	指標式	「地域猫対策」実施事例数							成果指標 業績指標
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	最終年度
	目標a			2					
	実績b	データ等の出典							
	東北 全国	実施事例数							

把握する時期 当該年度中 03月 翌年度 月 翌々年度 月

指標を設定することができない場合の効果の把握方法  
 指標を設定することが出来ない理由

見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業の必要性	
現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性	本事業は、「人と動物が共生する社会の形成」を推進するため、拠点となる施設の整備と愛護団体やボランティア等との協働の推進を図ろうとするものであることから、施策目的の達成のために必要である。
住民ニーズに照らした事業の必要性	本事業は、日常的に知事への手紙や電話等で寄せられる、動物愛護の推進に係る県民の要望に合致するものである。
事業の県関与の必要性	法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの
	本事業は、動物の愛護及び管理に関する法律及び秋田県動物の愛護及び管理に関する条例に基づき施策の実務を担当する県の施設の整備等を行うものであり、県が主体となって行う必要がある。

政策評価委員会意見	重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定
	重点事業 その他